

地域医療連携室だより

令和5年11月秋・第35号
大阪市立十三市民病院

耳鼻咽喉科のご紹介

大阪市立十三市民病院・耳鼻咽喉科では、令和5年4月から常勤医が二人体制となり、従来では困難であった緊急入院への対応も容易となり、可能な手術の範囲も拡大できるようになりました。

当科では、頭頸部外科疾患のすべての領域の初期診療を行っており、「赤ちゃんから老人まで」「急性から慢性まで」「良性疾患から悪性疾患まで」「薬物治療から手術まで」すべて取り扱っています。対応困難な症例については、基幹病院に紹介となりますが、基本的な耳鼻咽喉科的チェックが必要な場合はお気軽にご相談ください。

当院の得意分野は、難聴、副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎、嗅覚障害・味覚障害、などの診療で、詳細については下記をご参照ください。

また専門外来として、『補聴器外来』『嚥下看護外来』を開設していますので、こちらもよろしくお願いたします。



耳鼻咽喉科部長
愛場 庸雅

可能な検査

聴力検査（乳幼児を除く）、補聴器適合検査、平衡機能標準検査、嗅覚機能検査、味覚機能検査、鼻・咽頭・喉頭・嚥下機能の内視鏡検査、CT・MRI等画像診断、病理組織検査

可能な手術

鼻科手術、頸部良性疾患手術

緊急入院

内耳障害によるめまい、突発性難聴、顔面神経麻痺、鼻出血、咽喉頭や頸部の感染症など是对応可能です。気道緊急や気道食道異物への対応は困難です。

院内他科連携

合併症や境界領域については院内他科と共同して診療にあたりますが、中枢神経疾患、精神疾患、血液疾患などは院内対応が困難です。

編集 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-12-27

大阪市立十三市民病院 地域医療連携室

代表電話：06-6150-8000 直通電話：06-6150-8067



補聴器外来のご紹介

言語聴覚士 内山 良則



年齢を重ねるにつれ、聴力は徐々に低下しはじめます。65～74歳では3人に1人、75歳以上では約半数が難聴に悩んでいるといわれています。日常生活で「テレビのボリュームが大きくなった」、「高い音が聞き取りにくい」、「人混みの中での会話が難しい」などの困りごとが増えていけば、難聴が進んでいるのかもしれません。

「聞こえの低下」が気になる方は、当院の耳鼻咽喉科をまず受診いただき、聴力検査等の聞こえの状態を確認したうえで、補聴器外来（第2・4火曜日の午後）をご紹介します。

補聴器とは

声や音の聞き取りを援助する医療機器で、聴力レベルに応じた調整をすることで、よりよい聞こえを得るツール（道具）です。補聴器を着けると聞こえ方や装着に違和感を感じてやめてしまう方もおられますが、繰り返しの調整と慣れることも大切です。



診察と補聴器外来の流れ

1

耳鼻咽喉科 外来

- ・耳鼻咽喉科医の診察、言語聴覚士の聴力検査などで聞こえの状態を確認。
- ・補聴器の使用が必要と診断されたら、補聴器外来の予約をします。

2

補聴器外来 【第2・4火曜日】

- ・認定補聴器技能者が、補聴器の選択・調整・装着指導をします。
- ・補聴器は、一定期間（1ヶ月程度）貸出して日常生活でご試用いただきます。受診後すぐの購入は薦めません。

3

調整と試用期間 慣れることも大切

- ・補聴器はすぐに使用できるものではありません。調整を繰り返すことと、ご自身も補聴器を装着した聞こえ方に慣れていく必要があるからです。「合わない」とすぐに諦めてしまわずに、日常生活で試用しながら、補聴器の装着感や聞こえ方の確認と調整を繰り返す作業が重要です。
- ・調整にかかる期間は、平均3カ月ほどです。

4

補聴器の購入と アフターフォロー

- ・補聴器の購入は、補聴器の効果にご納得いただいた場合にご購入をおすすめしております。また購入後の補聴器で再調整等が必要な際には対応させていただきます。
- ・聴力に変化があった場合には、耳鼻咽喉科外来で診察いたします。

嚥下（えんげ）看護外来のご紹介

当院の嚥下看護外来では、摂食・嚥下（えんげ）障害看護認定看護師が「食事でむせる」「飲み込みにくい」「口が乾く」など、飲み込みに問題のある患者さんの「食べたい」という思いに寄り添い、必要な口腔ケアや嚥下リハビリテーション、食事の工夫など、安心して安全に口から食べる方法を提案しております。

相談の流れ

1 地域医療機関より「耳鼻咽喉科・看護外来」宛に紹介状の作成・予約

2 「耳鼻咽喉科」の受診

3 嚥下障害の原因が器質的でない方

4 「嚥下看護外来」の受診



嚥下看護外来の内容

● 認定看護師による問診

● 嚥下スクリーニング

● 口腔ケア方法の提案

● 嚥下リハビリテーションの提案

● 食事形態・食べ方の提案

● 日常生活への助言・指導

外来日

診療時間枠は、「第4木曜日の午後」ですが、まずは耳鼻咽喉科の診察が必要となります。

「耳鼻咽喉科宛て・看護外来希望」の紹介状を作成の上、
当院地域医療連携室（06-6150-8067）あてに
電話をお願いいたします。



認定看護師オープンセミナー開催のご案内



当院では、地域の看護職の皆さまを対象とした、認定看護師による研修を実施しています。今年度下記をテーマに体験型研修とグループミーティングを計画しています。詳細については、上記QRよりご参照下さい。



開催日時	テーマ	講師
11月25日（土） 13:30～	高齢者の認知・身体機能の低下を考える ～高齢者キットを手作りして、 身体機能の低下を体感してみよう～	認知症看護 認定看護師 藤井 政則

申込方法：11/18（土）までに右記QRコードもしくは
URLにアクセスし、お申込みください。

<https://forms.gle/3d6tBzCXnoKq8H3N8>



診療予約時間帯の拡大について

当院では、開業医の先生方の患者様のご紹介に係わるご要望にできるだけご対応できるよう、下記の通り診療予約時間帯を拡大することとなりましたので、お知らせいたします

対 象：当院地域医療連携室（06-6150-8067（直通））を介した紹介予約の患者さま
（当日予約も可）

時間帯：13:30～14:30

	月	火	水	木	金
糖尿病・内分泌内科	○	○		○	○
消化器内科		○	○		○
産婦人科	○		○	○	○
小児科				○	

小児科時間外診療再開について

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取扱いが5類へ移行したことに伴い、5月8日以降内科二次救急（365日24時間）の再開、分娩対応、HCU病棟の再開、がん検診の受入等整備を行ってまいりました。今回「小児科時間外診療」を再開する運びとなりましたのでお知らせ致します。これまで大変ご不便をお掛けしてまいりましたが、今後はコロナ禍以前と変わらない診療提供を行っていく所存ですので、引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

- 曜日・時間帯：月～金の平日 17:15～20:00（受付時間）
- 連絡先：地域医療連携室（06-6150-8067（直通））FAX06-6150-8686
- 対応範囲：地域の先生方の事前にご連絡いただいたご紹介患者（入院対応も行います）
- その他：紹介状（診療情報提供書）の作成をお願いいたします



結核診療再開について

2020年度以降、新型コロナウイルス専門病院として診療専従のため中止しておりました結核診療を再開することとなりました。コロナ受け入れ確保病床の関係上、以前のように結核病床39床すべて再開というわけではありませんが、結核患者の受け入れが可能となりました。これまで、結核患者の紹介先がなかなか見つからなかったり、また見つかったも遠方であったりと、「結核＝十三市民」と考えられていた医療機関の先生方には大変ご迷惑をおかけいたしました。今後は、コロナをはじめ結核診療など感染症診療にも取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

- 入院診療：当日もしくは翌日以降予約入院
- 外来診療：毎週火曜日・午前中
- 依頼方法：地域医療連携室（TEL：06-6150-8067（直通））もしくは
（FAX：06-6150-8686）までお願いします。

